

半田市議会議員

こいで^{よしかず}の 市政あれこれ

61



発行日：2024年10月1日

発行所：愛知県半田市瑞穂町5-3-18

連絡先：愛知県半田市新池町2-201-22



臭気対策は…

バイオテクノロジーを活用し酪農組合と共に!!

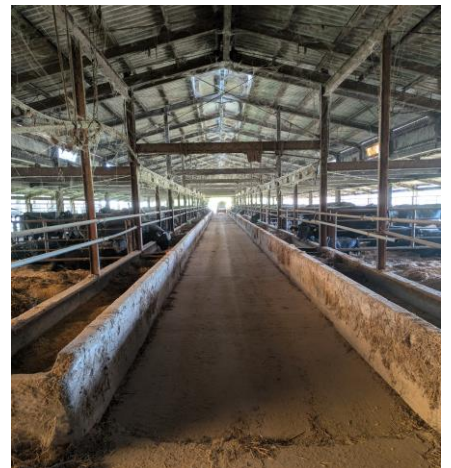
畜産臭気の改善を進めます!!

園芸用品メーカーの(株)花ごころが、事業の一環で、畜産農家へ技術支援を行っています。微生物の働きを利用した、畜産臭気を軽減する技術です。その効果と安全性については、岐阜大学応用生物学部研究室が学術的な立場で確認しています。実際に活用している三重県いなべ市の谷崎牧場を半田市の担当課職員と共に視察し、ほぼ無臭な牛舎の環境を視察することができました。この技術の利点は、設備投資が軽微なことです。同社は半田市の臭気対策のために、技術支援を申し出てくれています。半田市の所管部署は、「酪農組合」にこの技術の効果を紹介して、一緒に取り組むよう進める」と答えています。畜産臭気の改善を期待してください。



定住促進に繋げるためにも!!

臭気改善に向けたもう一つの課題が、堆肥を循環する仕組みづくりです。しかし、この地域の農業は畜産の生産高が8割、種耕の生産高は2割程度です。堆肥再利用エリアを西三河までの拡大、バイオマス発電など、堆肥が地域で循環し、活用されるネットワークが必要です。畜産業はこの地域の発展を支えてきた重要な産業です。畜産業の振興にも配慮した対策を行う必要があります



koide-handa.com もご覧ください

歴史・文化の保全と継承を

半田市には南吉童話にも描かれた美しい里山や海、川に代表される豊かな自然を背景に、山車・蔵・水田・酒造り・赤レンガ建物・武豊線など、先人たちが残してくれたたくさんの歴史と文化があります。

しかし、人口減少や少子高齢化に伴い、文化財を保存継承する担い手、後継者不足が問題となっています。文化財を後世へ保存継承していくためには、文化財所有者、地域住民、行政等が連携し、新たな取り組みを検討していく必要があります。半田市では「歴史・文化を活用したまちづくり調査特別委員会」を設置しました。郷土資料に関する調査研究を進め、地域文化の再評価と新たな掘り起こしを行っていきます。

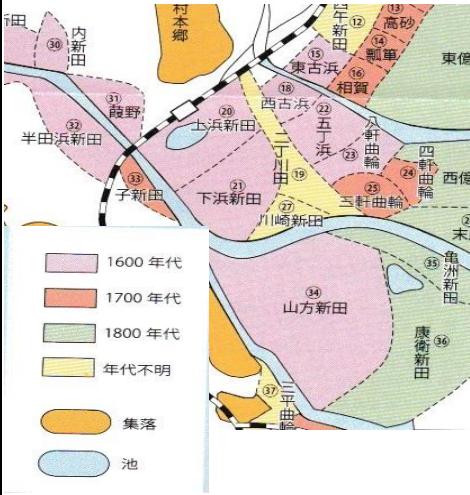
文化財は過去から未来への贈り物

半田市には、既にまちをよくするための活動をされている市民や団体がいくつもあります。行政による一方通行ではなく、こうした存在を巻き込み、横のつながりを大切にしたい事業を行う仕組みをつくるのが大切です。

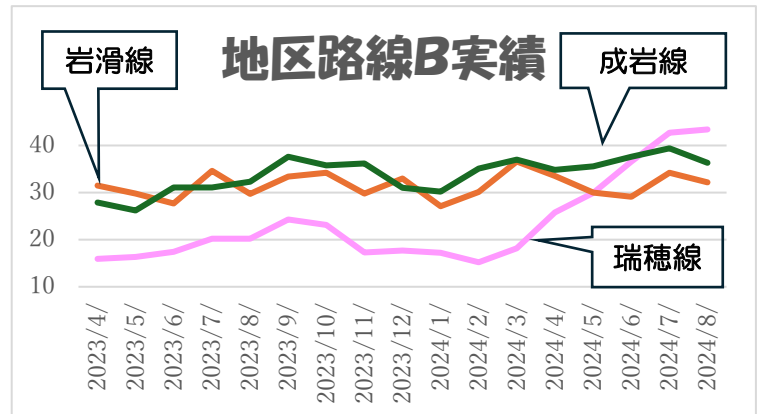
郷土の自然、歴史、文化に親しみ、理解を深めることは、地域に対する誇りと愛着を育むことにもつながります。先人たちが守り伝えてきた財産である文化財や郷土資料を適切に保存し、次世代へと継承されるまちを目指します。

歴史と文化を活用して

まちづくりを進めます



さくらバスは コース見直しと増便で 利用客数上昇中...



利用が増えれば路線も拡大出来ます!!

存続の危機にあったさくらバスは、運行コースの見直しやダイヤ改正によって、利用が伸びてきました。利用客数は、昨年の一昨平均18.6人が、直近で43.4人までに伸びています。運行開始から3年で、少し需要に比べられるようになりました。当初想定していた、買物や通院以外の利用が増えているようです。通勤や仕事で利用されている方や、時間帯によっては小学生が塾やスイミングに通うための利用もあるようです。ねばり強く改善して、その先の路線拡大にも繋げてまいります。

